

大分市地域まちづくりビジョン

大分南部地域ビジョン会議 通信 第2号

発行：大分南部地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営等々諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第2回大分南部地域ビジョン会議



■平成29年8月2日（水）19：00～

■大分南部公民館

開会

一、会長あいさつ

二、議事

1 第1回ビジョン会議の整理

・第1回意見のおさらい及び追加資料

・ビジョン会議通信

2 これからのまちづくりについて

・「大分市都市計画マスタープラン」について

・「大分市立地適正化計画」について

3 ワークショップ

～ビジョン（コンセプト）を導く～

三、その他

閉会

これからのまちづくりについて

事務局よりこれからのまちづくりについて各計画の説明を行いました。

1. 「大分市都市計画マスタープラン」について

JR大分駅南北を中心とした市街地は、大分都市計画区域の商業・業務の中心地であり、本市のみならず、県都、さらには東九州の重要な拠点にふさわしい規模、質を兼ね備えた商業・業務都心を形成することが期待される地区です。

商業・業務都心の外側に位置する西大分、南大分地区などには、湾岸交流拠点、健康文化拠点などにふさわしい各種機能を配置し、商業・業務都心と連携した広域都心を形成します。

また、大分地区の西側に広がる丘陵地や中心市街地直近の都心の森など、緑とも調和したうるおいのある市街地の形成を図るべき地区です。

このようなことから大分地区は、「緑あふれる広域都心の形成」をまちづくりの目標とします。

2. 「大分市立地適正化計画」について

大分市では、昭和39年の新産業都市の指定後、急激な商工業の発展と人口増加にあわせて、市街地が拡大し、都市基盤施設の整備などを推進してきたことにより、拡散型の土地利用が進行してきました。そのため、今後、少子高齢化等の進展による人口減少および人口密度の低下に伴い、税収の減少による財政規模の縮小、生活利便施設や公共交通の縮小、地域コミュニティ機能の低下等が予測され、人々の暮らしに様々な影響を及ぼすことが懸念されます。

高齢者や子育て世代にとっては、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を行うこと、公共交通等の効率化により低炭素型の都市構造を実現すること、災害から人命を守ることを推進していくため、都市の基本構造の在り方の見直しを行うなどの集約型都市構造へと転換する必要があります。

以上のことから、都市機能や居住の誘導に関する具体的な方策の検討を行い、都市再生特別措置法第81条に基づき「立地適正化計画」について、平成30年度末の公表を目指して作成を進めています



グループワークの流れ

**【ステップ1】
重みづけ**

**【ステップ2】
ブレインストーミング**

**【ステップ3】
親和図作成**

**まちづくりのコンセプト
(理念)成果発表**

【ステップ1】重みづけ(地域が重点的に取り組む施策の傾向を読み取る)

委員の皆様には、3班に分かれていただき、大分市総合計画の6つの「基本的な政策」に対し、ふだん気になることや問題に思っている重点項目に一人5枚のシールを貼っていただきました。

《A班:チーム百穴》 西田委員より発表

一番多かったのは、「計画的な市街地の形成と交通体系の確立」で、5枚シールが貼られています。あとは、3枚が「子ども子育ての充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実」「地域コミュニティの活性化」「子どもたちの学びを支える教育環境の充実」となっています。どちらかという、私や班の皆様が、子育て世代や高齢者世代に近いので、このような結果になったのかなという風に思いました。



【ポイントの多く入れた項目】

- 計画的な市街地の形成 ・ 交通体系の確立・・・(5)
- 子ども・子育て支援の充実 ・ 高齢者福祉の充実 ・ 障がい者(児)福祉の充実・・・(3)
- 子どもたちの学びを支える教育環境の充実・・・(3)

政策項目	貼られたシールの数
1. 計画的な市街地の形成と交通体系の確立	5
2. 子ども子育ての充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実	3
3. 地域コミュニティの活性化	3
4. 子どもたちの学びを支える教育環境の充実	3
5. 産業の振興	1
6. 防災力の向上	0

《B班:チーム碓山》 片山委員より発表

大項目では、「福祉の向上」のところが一番多くシールが集まっています。小項目で見ると、「計画的な市街地の形成、交通体系の確立」で、4枚のシール。その次に南部地域は道が狭いので安全安心のための「交通安全対策の推進」と、「子ども子育て福祉の充実等」が3枚となりました。「産業の振興」は1枚だけでした。うちの班では、あまり産業の振興には関心が低かったようです。



【ポイントの多く入った項目】

- 計画的な市街地の形成 ・ 交通体系の確立・・・(4)
- 子ども・子育て支援の充実 ・ 高齢者福祉の充実 ・ 障がい者(児)福祉の充実・・・(3)
- 交通安全対策の推進・・・(3)

政策項目	貼られたシールの数
1. 計画的な市街地の形成と交通体系の確立	4
2. 子ども子育ての充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実	3
3. 交通安全対策の推進	3
4. 産業の振興	1
5. 防災力の向上	0
6. 地域コミュニティの活性化	0

《C班:スマイルチーム》 熊谷委員より発表

福祉、教育や文化、それから防災安全、都市基盤などがだいたい3枚から4枚です。「防災力の向上」「安全安心なまちづくりの確保」もそれぞれ3枚でした。これは我々の中の地域性も大分出てきます、班のメンバーのそれぞれの立場で判断されたと思います。私も、防災にいれました。それから第一次産業が衰退しているのが非常に気になったもので、農業の振興というところに入れましたが、大分市全体でみると、なかなかそういう風にいてないなと思います。安全安心ということを身近に、と考えています。



【ポイントの多く入った項目】

- 防災・危機管理体制の確立・・・(3)
- 計画的な市街地の形成 ・ 交通体系の確立・・・(3)
- 子ども・子育て支援の充実 ・ 高齢者福祉の充実 ・ 障がい者(児)福祉の充実・・・(2)

政策項目	貼られたシールの数
1. 防災力の向上	3
2. 計画的な市街地の形成と交通体系の確立	3
3. 子ども・子育て支援の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実	2
4. 産業の振興	1
5. 地域コミュニティの活性化	0
6. 安全安心なまちづくりの確保	3

【ステップ2】ブレインストーミング(思いついた地域の魅力や課題を書き込む)

【ステップ3】親和図作成(問題点と課題点の整理)

各班で、思いついた地域の魅力や課題をポストイット(付箋紙)に書き込み、親和図に共通点を施策単位でまとめ、コンセプトを考えました。

《A班:チーム百穴》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉・・・(5)
 - ・高齢者の一人暮らしの方に緊急用通報装置があると良い・転入者に対する受け入れ姿勢が温かい・碓山でのそうめん流し、夢灯籠等の行事が地域住民の楽しみ 他
- 教育・文化・・・(10)
 - ・スポーツ出来る施設が少ない・百穴・史跡が多い・子どもたちの挨拶が良く気持ちが良い・河川で子ども達が安全に遊べる場所があるとよい・下津留地区の独立(北下郡) 他
- 防災・・・(3)
 - ・雨が降ると水がたまりやすい・曲の道路沿いの崖が地震等でくずれする恐れがあり危険 他
- 産業・・・(2)
 - ・産廃と福祉施設が集中しすぎ・米良産廃場をなくしてほしい
- 都市・・・(12)
 - ・山手線の拡大 下郡～滝中まで・JRのレールを使って富山式のチンチン電車を整備してほしい・滝尾駅前の道路が狭く車の離合がやりにくい・道がせまい・舟橋付近の道を広げてほしい 他
- 環境・・・(12)
 - ・滝尾駅までのバスがほしい・人口の割に公共交通が不便・七歩川の美化・小さい河川が多い・適度な田舎・山が近い・蚊が多い 他



《B班:チーム碓山》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉・・・(7)
 - ・滝尾は子育てサロン、ふれあいサロンが充実・街路整備において、車イスや電動カーが安心して通れる整備を・地域で一人ひとりが大切にされているか 他
- 教育・文化・・・(5)
 - ・旧跡めぐりのサポーター(大人、小・中学生)育成したらどうか・子ども同士が遊ぶ時間ができないものか・子どもにどんな力が必要なのか(将来を見据えて) 他
- 防災・・・(5)
 - ・米良川の浚渫を施し河床を下げる・避難訓練の意識と実践 女性防災士の育成・自治区ごとの災害リスクの洗い出しと周知 他
- 産業・・・(4)
 - ・農業空間は居住者にうおいを与える(住民との関わり方)・子供が地域農業にどれだけ係わるか?学校教育だけでいいのか・農業後継者が少ない(農家の高齢化) 他
- 都市・・・(11)
 - ・下郡公園を早く整備してほしい・下郡駅を作してほしい・道路整備・滝尾駅周辺を活性化し、JRの活用を図るべきではないか・森岡校区は買い物に不便(スーパーがない) 他
- 環境・・・(7)
 - ・赤坂タウンの汚れを長谷川に流さないでほしい・長谷川にホテルを、水質改善・碓山と駅の間土地を整備して駐車場にほしい 他



《C班:スマイルチーム》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉・・・(5)
 - ・自治会に女性が少ない・地区、役員決めに苦勞する・老人会入会者より退会の傾向あり・自治会長や老人会長等の地区役員になる人が少ない
- 教育・文化・・・(4)
 - ・子どもを含めた地域の活性化が感じられない・滝尾地区に公共施設がない・残したい①自然 ②伝統芸能 ③お神楽等
- 防災・・・(4)
 - ・防災体制の実状化・下郡防災公園を整備してほしい 大体育館・片島地区 治水・加納の防災 東側高地が気になる
- 産業・・・(1)
 - ・特産品の認識と活用
- 都市・・・(11)
 - ・バスの本数が少ない・曲の道が狭い・新しい道路がほしい 片島～曲間・地区内の道路がせまい為、住宅地以外の場所に道路を作してほしい・バスの便がとても良い・滝尾循環のコミュニティバスがほしい・踏み切りが多いので車にとっては不便 他
- 環境・・・(2)
 - ・豊かな環境・大分駅まで歩いていける



まちづくりのコンセプト(理念)成果発表

各班がそれぞれの意見を取りまとめて導いたコンセプト(理念)の発表をおこないました。

《A:チーム百穴》 大城委員より発表 **コンセプト：自然豊かな温故知新を体験できるまち！！**



一番やっぱり意見が多かったのが都市基盤ということで、道路が狭い。これを良くしていけばこの滝尾地区が良くなるのかなと考えました。

防災、教育文化、福祉、産業、環境、いろいろな意見が出ました。適度な田舎で、人の気持ちの温かい所だということもあって、コンパクトで、すごくいろんなものが体感できるまちです。交通網を良くすることで、自然豊かなこの街を、いろんな地域の方に知っていただけるように、滝尾駅、バスなどの交通網の整備をしていただければという事で、コンセプトとしましては、「自然豊かな温故知新を体感できるまち」といたしました。

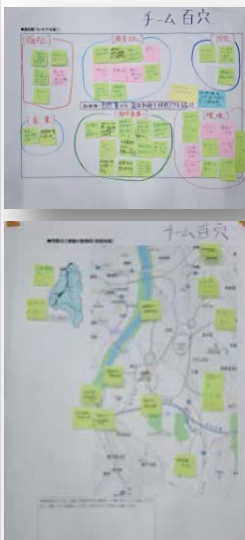
コンビニも多い、田んぼも多いし、虫も多いし、人も多いし、楽しい町じゃないかなという風な意見がでまして、これを目指して、道路網だったり、環境だったり、産業だったりをもっと整備していけたらなと考えました。

《B:チーム碓山》 長尾委員より発表 **コンセプト：碓山 滝尾人の心のふるさと**



都市基盤の整備、が一番多く有ります。下郡駅に関する意見も有りました。また滝尾駅周辺の整備というのが一番の目玉になっております。具体的には、滝尾駅前に直径100mのバス停等のロータリーを設けてほしい。また都市基盤と福祉の関係も切っても切れないので、後期高齢者を中心に、幸せに余生を暮らすためには、街の整備が必要になってきました。例えば、車いす、電動カーが安全に通れるような街の整備が必要だと思います。私は、防災の代表で、その防災にも繋がりますが災害があったときに、都市基盤の整備なしには、消防車とか、緊急車両が進めません、必然的にこの項目が多くなっています。米良川の河床の浚渫です。米良川の両側の片島津守地区は、河床よりも敷地が低い状態です、一度その堤防が決壊すると、その両側の敷地に河川の水が流入して堤防を越流したような形で、氾濫し家屋が水没してしまいます。という意味も込めまして河川の整備、河床の浚渫というものが、防災にも繋がってくるということです。コンセプトとしまして、「碓山 滝尾人の心のふるさと」です。

《C:スマイルチーム》 熊谷委員より発表 **コンセプト：安心で利便性に富んだまちづくり**



この親和図で見ますと都市基盤というところに少し意見が集中しました。滝尾地区も南北で見ますと距離があります、それにより地域性がかなり違うところがあります。北と南では、特に交通の面で非常に大きな違いを受けています。滝尾の中で行きたくない所があります。なぜかという、前からバスが来たら、離合できないくらい道が狭いからです。それから教育文化、やはり子ども施設等々が滝尾にない。滝尾地区には公共施設が、ここの公民館と学校しかありません。防災も含めて南下郡公園に防災公園にしてほしいという意見が出ました。皆様ご存じの明野の崖が近くて土砂崩れ、土石流というような心配もあります。全体的にみると非常に穏やかな所で、大分川の氾濫がどうなるかという程度のことだろうと思います。最終的に意見が集中したのが都市基盤のところです。自動車、バスも少ない、列車も一時間に一本ぐらいしか走らないということで、非常に生活する面では不便です。「安心で利便性に富んだまちづくり」、とういのがこの南部地区の課題ではなかと考え、コンセプトにしました。